

【支部総会報告】

2021 年度 学友会大阪支部総会 報告

四方 淳司(短大3回生)

令和3年12月4日(土)、例年と同様に梅田の阪急ターミナルビル(株)島津製作所関西支社にて、学友会大阪支部総会を昨年に引き続き規模を縮小して開催しました。開催にあたっては三密を避け、受付には非接触式体温計、手指消毒アルコールを用意し新型コロナウイルス感染症対策を行いました。

大阪支部幹事16名、大学からオブザーバとして遠山先生(64回生)が出席していただき、総勢17名での開催と成りました。

14時30分から新川秀和支部長(63回生)より開会の挨拶にて総会が開会されました。支部長の挨拶では新型コロナウイルスの影響についてや、タスクシフトが進むなか医療法改正による告示研修などに触れられました。病院や技師を取り巻く環境の変化について、学友会でも病院間での情報共有の必要性を強調されていました。

支部総会次第に沿って、新川秀和支部長より支部役員、幹事名簿の確認、支部活動報告、角田 浩氏(短9回生)より会計報告、高田春彦氏(短8回生)より会計監査報告があり、全会一致で了承されました。

また、本年度は支部役員改選があり、次期新支部長は、高田春彦氏(短8回生)、副支部長には久保田裕一氏(65回生)、青木大悟氏(短15回生)、会計監査に角田 浩氏(短9回生)が選出され全会一致で承認されました。

新支部長の高田春彦氏から就任の挨拶があり、10年前のエピソードも交えて就任までの経緯や今後の抱負などを語られました。

その後、島津製作所の西本氏による挨拶の後、新川秀和支部長の閉会の辞により支部総会は終了しました。

来年以降について支部総会の開催方法は未定ですが、コロナ禍の終息を願いつつ会員の皆様に参加していただけるよう大阪支部幹事にて協議を行ってまいります。現地開催やハイブリッド開催等により支部総会が開催された暁には、多数のご参加をお待ちしております。

以上

*通巻242号 2022年1月10日発行(2021-No.4より)